



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年4月11日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <http://www.okavamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の業績（平成29年6月1日～平成30年2月28日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	6,731	7.1	△23	—	14	△93.0	3	△97.6
29年5月期第3四半期	6,285	△0.8	177	14.5	214	10.9	143	15.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	0.71	—
29年5月期第3四半期	29.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第3四半期	12,091	7,960	65.8
29年5月期	11,790	7,996	67.8

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 7,960百万円 29年5月期 7,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年5月期	—	6.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年5月期の業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	10.1	65	25.9	100	5.9	65	1.4	13.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期3Q	5,500,000株	29年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	565,159株	29年5月期	583,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期3Q	4,925,768株	29年5月期3Q	4,917,465株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における板紙業界におきましては、海外の需要増により原紙の原料となる古紙価格が高騰し、原紙メーカーである当社を取り巻く経営環境は非常に厳しいものとなりました。

こうした状況のなか、当社は経営全般にわたるコスト低減に総力を結集する一方、需要に見合った生産レベルの維持と適正な製品価格の実現に努めました。そして、過去に例のない古紙の値上がりの状況下で収益を確保するため、板紙製品価格の改定を実施し、その浸透に努めました。

板紙事業におきましては、第2四半期以降は製品価格の改定の効果で売上高が増加したものの、原料価格高騰によるコスト高の影響を完全に吸収するには至らず、大幅な減益となりました。

また、美粧段ボール事業におきましては、主力の通信機器関連品の減少により、減収減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,731百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業損失は23百万円(前年同四半期は営業利益177百万円)、経常利益は14百万円(前年同四半期比93.0%減)、四半期純利益は3百万円(同97.6%減)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、販売数量は微増にとどまりましたが、製品価格値上げの影響もあり、売上高は5,883百万円(前年同四半期比9.9%増)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品の減少により、売上高は847百万円(前年同四半期比9.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は12,091百万円となり、前事業年度末に比べ300百万円増加しました。内訳は、流動資産が447百万円の増加、固定資産が147百万円の減少であります。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金600百万円の増加であります。また、固定資産減少の主な要因は、機械及び装置138百万円の減少であります。

負債は4,130百万円となり、前事業年度末に比べ336百万円増加しました。内訳は、流動負債が313百万円の増加、固定負債が22百万円の増加であります。

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金145百万円の増加であります。また、固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債6百万円の増加であります。

純資産は7,960百万円となり、前事業年度末に比べ35百万円減少しました。主な要因としては利益剰余金55百万円の減少であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の67.8%から65.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、原料古紙価格の動向は不透明ながら、引き続き高値で推移することが見込まれますところ、板紙製品価格の改定が浸透しつつありますので、平成29年7月14日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,068,722	2,786,968
受取手形及び売掛金	3,041,618	3,641,955
商品及び製品	359,863	347,749
仕掛品	20,983	21,033
原材料及び貯蔵品	351,788	465,788
その他	172,310	199,360
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	7,013,286	7,460,855
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	500,652	467,618
構築物(純額)	110,078	104,997
機械及び装置(純額)	1,230,092	1,091,858
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	15,492	11,384
土地	194,549	194,549
リース資産(純額)	18,793	35,506
有形固定資産合計	2,069,657	1,905,915
無形固定資産		
投資その他の資産	3,911	3,679
投資有価証券	2,691,970	2,708,816
出資金	9,793	9,793
その他	2,295	2,324
投資その他の資産合計	2,704,059	2,720,933
固定資産合計	4,777,628	4,630,527
資産合計	11,790,915	12,091,383
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,026,649	2,172,537
未払金	273,359	249,780
未払費用	422,203	554,202
未払法人税等	2,163	50,999
その他	43,175	53,688
流動負債合計	2,767,551	3,081,209
固定負債		
繰延税金負債	549,581	556,484
退職給付引当金	409,798	415,372
役員退職慰労引当金	56,251	—
その他	11,024	77,506
固定負債合計	1,026,655	1,049,363
負債合計	3,794,207	4,130,572

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	734,950	738,312
利益剰余金	5,004,597	4,948,971
自己株式	△219,674	△213,086
株主資本合計	6,340,942	6,295,267
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,655,765	1,665,542
評価・換算差額等合計	1,655,765	1,665,542
純資産合計	7,996,708	7,960,810
負債純資産合計	11,790,915	12,091,383

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	6,285,409	6,731,225
売上原価	5,103,580	5,730,103
売上総利益	1,181,828	1,001,121
販売費及び一般管理費	1,004,324	1,024,701
営業利益又は営業損失(△)	177,504	△23,579
営業外収益		
受取配当金	33,355	36,668
受取保険金	1,421	—
その他	4,216	3,667
営業外収益合計	38,993	40,335
営業外費用		
売上割引	1,660	1,761
その他	3	6
営業外費用合計	1,664	1,768
経常利益	214,832	14,987
特別利益		
投資有価証券売却益	—	569
特別利益合計	—	569
税引前四半期純利益	214,832	15,556
法人税、住民税及び事業税	84,776	54,042
法人税等調整額	△13,378	△41,970
法人税等合計	71,397	12,072
四半期純利益	143,435	3,484

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。